

沖縄県金武町からの訪問団 文化交流でエイサーを披露



1月7日、少年国内研修交流事業の交流先である沖縄県金武町中川区子ども会が当町を訪れ、町民センターで歓迎会が開かれました。

歓迎会は、昨年の国内研修参加者と保護者を中心に準備が進められ、当日は、ジュニアジャズバンドの演奏や金武町の子ども達によるエイサーや琉球空手の披露、沖縄の方言クイズなどが行われました。

今年も死亡事故ゼロを目指し 交通安全祈願祭開催



1月10日、氷川神社で新冠町交通安全推進委員会主催の交通安全祈願祭が開かれ、関係者ら31名が参列しました。

主催者を代表して挨拶した本間会長は「町内の交通事故死亡事故ゼロが1067日目となりました。今後も、交通事故ゼロ、死亡事故ゼロを目指し、関係者が一丸となり交通安全に取り組んでいきましょう。」と決意を述べました。

ニューイヤークンサート2017 白石高校と新冠中吹奏楽部が演奏



1月11日、レ・コード館で白石高校吹奏学部と新冠中吹奏楽部が合同で演奏するニューイヤークンサート2017が開かれ、会場には町内外から180名が来場しました。

前半の白石高校の演奏では、昨年流行した星野源さんの「恋」などが演奏され、後半の新冠中との合同演奏では、本格的なクラシック曲やジャズなどが披露されました。

町長と語ろうまちかどミーティング 1月は4つの自治会と開催



1月12日、節婦生活館で、今年最初となる町長と語ろうまちかどミーティングが行われました。

まちかどミーティングは、例年、総会や新年会が開かれる1月に開かれることが多く、今年1月も、節婦自治会、里平自治会、泉自治会、西泊津自治会と4自治会で催され、町政について意見交換が行われました。

少年国内研修交流事業 沖縄の文化に触れる



1月11日～14日まで、平成28年度新冠少年国内研修交流事業が開かれ、町内の小学6年生17名、中学1年生3名、高校生2名が沖縄県を訪れました。

参加者は、琉球時代から続く文化や特有の自然環境、太平洋戦争を中心とする沖縄の歴史について学習しました。

また、3日目は、金武町中川区子ども会主催の歓迎交流会に招かれ、名刺交換やエイサーの見学、新冠町の紹介や新冠から郵送した雪を使つての雪遊びなどで交流しました。

交流会の後、参加者は中川区内の民家にホームステイをし、沖縄の生活様式や方言、食文化に触れました。

その2

話 題

あ れ こ れ

黒毛和牛8億円突破 記念祝賀会を開催



1月30日、レ・コード館で、新冠町和牛生産改良組合主催の黒毛和牛販売額8億円達成記念祝賀会が開かれました。

販売額は、平成元年に1億円を突破すると、16年には3億円、その後も順調に売り上げを伸ばし、ここ数年は全国的な繁殖雌牛の減少に伴い素牛・肥育販売いずれも高値の取引となり、本年度は8億7千万円という結果となりました。

祝賀会では、主催者を代表し青木真一組合長が挨拶し「今年度の8億円は通過点とし、さらに販売を伸ばしていきたいと思う、会員一同邁進していく所存です。」と述べ、最後に、今年度の優良生産者の表彰を行いました。

チャイルドランド事業 安平町のスキー場で親子で雪遊び



1月12日、子育て支援センターのチャイルドランド事業で安平町のスキー場を訪れ、親子で雪遊びを楽しみました。

この事業は、安平町のスキー場までバスで移動し、雪の中で思い切り遊べるようにと、今年初めて企画されました。

当日は、18名の親子が参加し、そりで斜面を滑ったり、雪の上で転がったりと、冬の遊びを楽しみました。

えましあふれあい事業 手作り凧を揚げて遊ぼう！



1月14日、字本町のサポートセンター「えましあ」で、冬休み期間中の体験教室として「凧作りと凧揚げ教室」が開かれました。

教室には、30名の参加者が集まり、ビニールに絵を描いた後、骨組みと紐を組み合わせ手作り凧を製作しました。

その後、屋外に移動し凧を揚げると、凧は風を受け、空高く舞い上がりました。

手作りそばの魅力体験 生涯学習講座「そば打ち教室」



1月21日、本町多目的交流センターで、教育委員会がそば打ち教室を開き、17名がそば打ちを体験しました。

講師を担当したのは、新ひだか町で活動するそば打ち研究会で、そば粉の配分から、水の加え方、こね方、のして切るまでを解説しました。

参加者は、講師の手さばきを真似しながら、一つひとつの作業を体験していました。

日高中部青年会議所と協定を締結 災害時における支援活動に関する協定



1月31日、役場会議室で、町と日高中部青年会議所が「災害時における支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害発生時、青年会議所や会員が、支援物資の調達や輸送、情報収集などの協力をするもので、古川会長は、今後は防災ネットワークの拡充を図り、会員それぞれが防災・減災について考えていきたいと話しました。